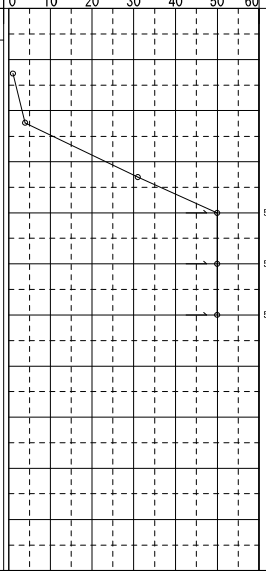
土質ボーリング柱状図（標準貫入試験）

調査名	その他河川 天地川 外 砂防激甚災害対策特別緊急事業に係る業務委託
事業・工事名	
調査目的及び調査対象	砂防　構造物基礎

ボーリング名	Bor-2	調査位置	広島県安芸郡坂町小屋浦四丁目	北緯	34° 18' 27.4392"
発注機関	広島県西部建設事務所	調査期間	令和3年 5月18日～ 令和3年 5月19日	東経	132° 31' 02.1294"
調査業者名		主任技師		現場代理人	コア鑑定者 / ボーリング責任者
孔口標高	TP 66.21m	角度	180°（上）、90°、0°（下）	方向	北 0°、90°（東）、180°（南）、270°（西）
総削孔長	6.00m	地盤勾配	水平 0°、鉛直 90°	使用機種	試錐機：東邦.D1-B58 / エンジン：ヤンマーNFD-13 / ポンプ：東邦BG-3C

標尺（m）	標高（m）	深度（m）	現場土質名（模様）	現場土質名	地盤材料の工学的分類	色調	相対密度	相対稠度	記事	孔内水位／測定月日
1				礫混り砂		濃暗灰 暗灰褐	rd1		0.00～0.20m間、有機質な砂質土。以深、細～中粒の砂・砂質土。φ2～10mmの角礫・亜角礫が不規則に混じる。含水量多く非常に脆弱。	5/19 0.62
2										
3	63.21	3.00		砂質土		暗灰褐	rd4		細～粗粒の砂・砂質土。φ2～20mmの角礫・亜角礫が混じる。深度3.50m付近に長さ7cm程度の礫を挟む。	
4	62.21	4.00		花崗岩		淡灰			概ね中硬岩相当の花崗岩。長さ10～60cmの棒状。ハンマーの打診で金属音を発する。岩質は緻密で新鮮。深度4.45m、4.75～5.00m間、深度5.95～6.00m間、厚さ1～5cmの硬い岩片状。全体に水平方向の割れ目が卓越する。	
5										
6	60.21	6.00								
7										
8										
9										
10										
11										

標準貫入試験



N値	深度（m）	100mm毎の打撃回数 0～100	100～200	200～300	打撃ごとの貫入量	50回の貫入量	自沈時の貫入量
1	1.00	0 / 280	1 / 270		1 / 550		
	1.55						
4	2.00	0 / 200	1 / 140	3 / 130	4 / 470		
	2.47						
31	3.15	7	14	10	31 / 300		
	3.45						
50以上	4.00	貫入不能			50 / 0	0	
50以上	5.00	貫入不能			50 / 0	0	
50以上	6.00	貫入不能			50 / 0	0	

試料採取 深度（m）	試料番号	採取方法	室内試験	削孔月日
1.00	P-1	⊖		5/18
1.55				
2.00	P-2	⊖		
2.47				
3.15	P-3	⊖		5/19
3.45				